

第7回千葉活性化サロン テーマ「IT、IoTを活用した生産性向上」

◇ 平成31年2月4日開催

◇ ゲストスピーカー 森 宏 千葉県商工労働部 産業振興課 主査

「千葉県におけるIoT導入支援のご紹介」講演概要

1. 千葉県のIoT推進ラボにおける取組み

- IoT等によって地域課題を解決し、新しいビジネスを創出する取組み、プラットフォームを「地方版IoT推進ラボ」として経済産業省で選定。選定基準は①地域性、②自治体の積極性と継続性、③多様性と一体感。
- 千葉県IoT推進ラボは、県内中小製造業の個々の状況に適したスマート化により、生産性向上を推進できるようなIoTの活用を目指す。具体的には、平成29年度から「知る・考える」「試す・検証する」「使う」の3段階の各ステップを1年に1つずつ広げ、事業を拡張していく取組みを実施。

ステップ1 「知る・考える」...「千葉県スマート化推進会議」を設置、運営。教育面の支援として高度ポリテクセンター、技術面の支援として産業支援技術研究所、企業の支援として産業振興センターなどがメンバーとなり、必要な施策を検討。また、IoT導入に向けて必要な知識普及を図る「IoT活用セミナー」を開催。

ステップ2 「試す・検証する」...「IoT実習講座」で安価なセンサーを用いてIoTに触れる機会を創出するとともに、「IoT活用法勉強会」をセットで開催し、自社の課題を見出して解決策を検討する場を提供。勉強会で要望が出れば、専門家派遣も行っている。中小企業支援にあたっては、以下の点について考慮する必要がある。

- ①自社の抱える課題が明確でないので、課題の洗い出し・整理から取り組む必要がある。
- ②古い設備が多いため、後付けでセンサー類を取り付ける必要がある。
- ③経営上の面から高価な機器の購入は難しい。
- ④従業員にIT系の知識やスキルがあまりないので、自社の課題をITベンダーへ仲介する役割として第三者の支援が必要。

ステップ3 「使う」...県内IT企業とのマッチング促進のため「IoT等ワンストップ窓口」を設置。そのほか、「ITスキルアップ講習会」の開催、「中小企業向けIoT体験ラボ」の設置などを予定。

2. IoT導入における課題

- 中小企業においてIoT導入が進まないのは、経営者が「技術が難しくよくわからない、自社にどのようなメリットがあるか分からない」と考え、近づこうとしないからではないか。また、他社の成功事例を紹介されても、現場は大丈夫か、IoTを使いこなせるか、投資を回収できるのかといった不安が解消できないと、導入には至らない。
- 上記ハードルを乗り越えられたとしても、中小企業は自分が抱えている課題が分からないので、ITベンダーに具体的なスペックを示せるよう、まず課題を見出し、その課題に対する解決策を見出すことが大切。そのために、千葉県IoT推進ラボや産業支援技術研究所などの窓口にもまず相談してもらい、専門家派遣も活用しながら企業訪問を通じて課題を抽出。その上で課題解決に向けたお試しのIoTを導入し、結果を見て本格導入する意向があれば仕様書を固めてITベンダーに提示。という方法が考えられる。